

公益財団法人日本食品化学研究振興財団
平成 26 年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 孝重）は、次のとおり平成 26 年度助成金交付対象者を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額

一般研究	18 件	計	1,565 万円
課題研究	7 件	計	635 万円
合 計	25 件		2,200 万円

前期シンポジウム開催等助成件数および金額

2 件	計	135 万円
-----	---	--------

○一般研究

1. 食品添加物を気にする母親に育てられている幼児の身体的および心理的特徴とその支援
(筑波大学医学医療系 教授 徳田 克己)
2. 沖縄県産四季柑およびシークワサーの抗腫がん活性を指標とした成分評価
(富山大学和漢医薬学総合研究所天然物化学分野 教授 森田 洋行)
3. サッカリンナトリウムの赤外吸収スペクトル試験法の設定に関する研究
(国立医薬品食品衛生研究所薬品部 主任研究官 坂本 知昭)
4. 酸化防止剤と金属の複合反応による活性酸素種生成に関する研究
(星薬科大学薬品分析化学教室 助教 岩崎 雄介)
5. 食品添加物等の各種理化学情報検索システム構築に関する研究
(国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 室長 杉本 直樹)
6. 酸化ストレス、細胞老化、オートファジー関連因子の解析を通じた脂肪性肝疾患治療薬および抗精神薬投与の脂肪関連疾患への影響評価と抗酸化物質投与
(東京農工大学大学院農学研究院 准教授 吉田 敏則)

7. クチナシ青色素の効率的な単離精製法に関する研究
(金城大学薬学部 助教 松山 さゆり)
8. 亜鉛欠乏予防に効果のある食品添加物に関する食品科学的研究
(京都大学大学院生命科学研究科 准教授 神戸 大朋)
9. ヨウ素デンプン反応の発色の数値化によるデンプン類の基原確認法の開発
(国立医薬品食品衛生研究所薬品部 厚生労働技官 宮崎 玉樹)
10. 幼児期の人口甘味料の摂取が、腸内細菌叢と全身代謝に及ぼす影響の解明
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 助教 上番増 喬)
11. 凍結乾燥に伴う酵素失活の sugar surfactant による高度抑制
(岡山大学大学院自然科学研究科 教授 今村 維克)
12. ベニバナの食品添加色素収量の増加及び安定化に向けた遺伝育種学的研究
(山形大学農学部 准教授 笹沼 恒男)
13. 食品中ナノマテリアルの免疫毒性評価とその安全性確保に向けて
(大阪大学大学院薬学研究科 准教授 吉岡 靖雄)
14. 放射性核種の吸収・分布・排泄に及ぼす多糖類の影響に関する基礎的研究
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 榎本 秀一)
15. 「クチナシ赤色素」の化学構造および色素形成メカニズムの解明
(国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 主任研究官 伊藤 裕才)
16. 非遺伝毒性肝発がん物質ダンマル樹脂の発がんメカニズムの解明
(大阪市立大学大学院医学研究科 教授 鰐淵 英機)
17. 消費者の食品添加物の安全性に対する意識及びその変遷
(大妻女子大学家政学部 教授 堀江 正一)
18. メタボロミクスを用いたショウガ品種の分類と含有化学成分の観点から見た特徴の調査
(星薬科大学薬化学教室 助教 若菜 大悟)

○課題研究

1. 食品添加物メントールによる薬物の体内動態変動要因の解析
(星薬科大学薬動学教室 助教 五十嵐 信智)
2. 天然由来食品添加物オイゲノールの麻酔作用に関する研究
(山口大学農学部 助教 肥塚 崇男)
3. 硫酸抱合化ポリフェノールの体内動態と機能性発現機構に関する研究
(名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 河合 慶親)
4. 配糖化によるクルクミンの消化管吸収改善とそのメカニズムに関する研究
(名古屋市立大学大学院薬学研究科 准教授 牧野 利明)
5. ポリフェノール系既存添加物による新規食中毒制御法の開発
(静岡県立大学食品栄養科学部 助教 島村 裕子)
6. 天然香料成分の抗肥満・血糖低下効果の機能解析
(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 佐藤 隆一郎)
7. ぜん動運動を備えたヒト胃消化シミュレーターによる高齢者用油脂含有食品の消化挙動の評価
(筑波大学生命環境系 教授 市川 創作)

○(前期) シンポジウム開催等助成

1. 第27回国際ポリフェノール会議 2014 名古屋
2. 日本食品化学学会 第20回総会・学術大会